

事業所名：地域密着型特別養護老人ホーム なつぼ

運営推進会議開催報告書

開催日時 令和 7 年 8 月 19 日(火) 14:00 ~15:00

参加者

家族：2名

地域包括支援センター： 1名

事業所： 5名

議題 内容

参加者自己紹介、施設長挨拶

医療福祉の事故対策も他の業界からの経験を導入したりして進んできた。

1 ① R6年度事故報告について

別紙事故件数、事故対策について施設長より報告。

転倒等が34%、薬関連が19%、怪我（あざ等）が12%、その他3割。

他施設の状況をみると転倒等で50%近いところもある。なつぼは割合としては低い。

インシデント報告の割合が少ない。他、別紙に沿って詳細報告。

意見交換等

- ・私の家族の部屋にはマットが置いてあったが、センサーは使っているのか？
→状態に合わせて使用している、一律ではない。
- ・入居したばかりはあざも多かった。現在は少なくなり安心している。
- ・自身の経験からも、コンプライアンス、ガバナンスが重要な社会になっていると思う。
以前の会社や社会の対応では、現在では隠蔽ととらえられてしまう事例が多いただろう。
SNSもあり、悪事はすぐに広まってしまう。対応には気を付けなくてはいけない。
- ・サービスの提供マニュアルや、提供者でのサービスの質の違いを生まない工夫も大切になるのではないか。
- ・施設内での落葉が多いとの報告であったが、管理方法はどうなっているのか？
→ 服薬支援では、内服終了を確認することになっている。
落葉の状況としては、例えば、口腔内の隙間に入ってしまう溶けたものが落ちていたりすることもある、散剤に変更したりと対策している。
- ・主にショートステイ利用者等の居宅での服薬管理と支援体制についての視点から意見交換。実際に自宅で残薬が多い方もいる。
- ・センサーカメラの設置について、夜勤職員としては役立っていると感じる。
プライバシー等に配慮した活用について意見交換。

②皆様からのご要望、ご意見、お知らせしたい情報等

- ・特にありません